

# 秩父 市議会だより

第16号

発行  
秩父市議会  
編集  
市議会だより編集委員会  
秩父市議会事務局  
☎ (25) 5224  
FAX (24) 2594  
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



## 《原谷公民館》育児サークル・子育てサロン

「いよっ!タンバリンて、けっこう重いね!」原谷公民館には遊戯室があり、育児学級や育児サークル、子育てサロンを行っています。

写真は、たくさんのおもちやで遊んだ後にお遊戯をしているところです。

(原谷公民館では、30の主催講座を開講し、49団体のクラブが活動しています。)  
お気軽にご参加ください。

# 3月 定例会

平成21年度秩父市一般会計予算 . . . . . 原案可決

秩父市長政治倫理条例 . . . . . 原案可決

ちちぶ定住自立圏 中心市宣言



秩父市議会3月定例会は、3月2日から3月19日までの18日間を会期として開かれました。

この3月議会では、市政全般に対する一般質問に16名の議員が登壇し、市政発展のための活発な論議が展開されました。

審議した議案は、初日(2日)市長から提出された48件、最終日(19日)に追加議案として3件、議員から提出された5件の議案、合計56件の議案です。上程された議案は、原案可決及び同意されました。

他に請願3件が審議されました。

## 3月定例会会期日程

3月 2日 ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定

○諸報告 ○施政方針

○市長提出議案の報告

○議案第1号上程、即決

○議案第2号から議案第48号まで一括上程、説明

○休会(議案調査・一般質問ヒアリング)

3日 ○休会(議案調査・一般質問ヒアリング)

4日 ○休会(議案調査・一般質問ヒアリング)

5日 ○議案に対する質疑

○議案に対する質疑

○議案の委員会付託

7日 ○休会(土曜日)

8日 ○休会(日曜日)

9日 ○請願・陳情付託

○市政に対する一般質問

○市政に対する一般質問

○市政に対する一般質問

○休会(議案調査)

○委員会

14日 ○休会(土曜日)

15日 ○休会(日曜日)

16日 ○委員会

○委員会

○休会(事務整理)

○委員長報告 ○委員長報告に対する質疑

○討論 ○採決 ○閉会

## 議会日誌

1月

13日 議会だより編集委員会

19日 議会だより編集委員会

危機管理・ダム対策特別委員会

議員クラブ連絡会

28日 埼玉県市議会議長会第三区議長会議員研修会

2月

4日

千葉県富津市視察来秩

13日 第2回秩父市・皆野町合併研究会

16日

議員クラブ連絡会

議員クラブ研修会

23日 各派代表者会議

議会運営委員会

3月

2日 定例会開会

5日 各派代表者会議

各派代表者会議

19日 議会運営委員会

定例会閉会

27日 議会だより編集委員会



# 意見書の提出

3月定例会の最終日の本議会において、議員提出議案の意見書5件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。

内容については次のとおりです。

## 「緑の社会」への構造改革を求める意見書

1 日本の誇る環境技術を駆使して、化石燃料からの転換を図る環境産業の活性化を促すこと。そのため3年間で10兆円規模の投資を行い、今後5年間で100兆円の市場規模、200万人超の雇用を実現すること。

2 2020年には、太陽光発電などの再生エネルギーの1次エネルギー構成率20%を目指す。特に太陽光発電については2020年までに10倍とする政府の導入量目標の倍増を検討し、例えば全小中学校への設置など大胆な取り組みをすること。

3 電気自動車、プラグイン・ハイブリッド車など次世代自動車の普及を急ぎ、5年後に100万台、2020年に新車販売の70%超を目指すとともに、温室効果ガス排出削減に資する観点から公共交通機関の活性化に対する支援を大幅に拡充すること。

4 省エネ住宅・ビル等の建設・改修を大規模に促進するとともに、

環境モデル都市の対象都市を拡大するなど、さらなる国の支援を拡充すること。

5 森林吸収量の目標として掲げる温室効果ガス排出削減3・8%の実現に向けて、林業と建設業の協働も行うつつ間伐・植林などの森林整備を進めること。さらに、これにより林業・造園・建設業など関連業種で新たな雇用を創出すること。

6 地産地消型のバイオ燃料事業を拡大強化し、その利活用によって地域の特性を生かした活性化を図り、バイオマスタウン300地区を早期に実現すること。

7 エコ・ポイント事業（温暖化対策行動等に対してポイントを発行するもの）を拡充させるなど、国民生活部門における温室効果ガス排出削減のための活動を支援すること。

## 障害者自立支援法の見直しを求める意見書

1 障害者自立支援法の見直しに当たっては、介護保険制度との統合を前提とせず、あくまでも障害者施策としての在るべき仕組みを検討すること。

2 最大の課題となつて利用者の負担については、これまでの特別対策や緊急措置によって改善されている現行の負担水準の継続は当然として、これまでの経緯を十分に踏まえ、新たな利用者負担の考え方に基つき、法の規定を見直すこと。

3 新体系への移行が円滑に進まな

い状況を踏まえ、施設利用要件の抜本的な見直しを行うこと。

4 障害者の範囲について、発達障害や高次脳機能障害が自立支援法の対象となることを明確化し、障害程度区分についても、身体、精神、知的、発達障害などの障害特性を反映するものとなるよう見直しを行うこと。

5 地域生活支援事業について、障害者が地域で暮らすために不可欠な事業は、自立支援給付とし、移動支援やコミュニケーション支援の充実を図ること。

6 福祉的就労分野での利用者の負担解消について、関連施策との関係を含め議論を深めること。

## 派遣労働法をはじめとした労働法の抜本的改正を求める意見書

1 法定割り増し賃金率の引き上げやサービス残業の取り締まり強化を図ること。

2 日雇い派遣や製造業などを含め派遣労働の原則禁止をはじめ、労働者派遣は、常用型派遣を基本とし、登録型派遣を例外として、厳しく規制することなどを盛り込んだ派遣法の改正を早期に図ること。

3 派遣労働等のため、雇用保険に加入していない労働者が失職した場合でも労働者の生活確保や職業訓練に要する費用を政府が負担すること。

1 少子化社会の中にあつて、次世

## 保育所の最低基準の引き下げや市場原理に基づく直接契約の導入等に反対を求める意見書

代を担う子どもの育成については、これまでに増して国と地方が共に責任を持つて推進すべきであります。

2 保育所への入所要件の拡大は、保育にかける児童の福祉の後退を招かない措置を講じるとともに国及び地方の必要な財源確保を前提として行うべきであります。

3 保育所には、市場原理に基づく直接契約・直接補助制度の導入は、子どもの福祉の低下を招くものであり導入すべきではありません。

4 保育所の最低基準を見直し地方自治体ごとに定める基準とすることは、福祉の後退に繋がるものであり、全国一律の最低基準が必要です。

## 仮称・蒔田トンネル開削促進に関する意見書

このたび吉田、大田地域の各世帯及び尾田蒔田地域の各町会並びにみどりが丘工業団地及び吉田、大田地域の各企業がこぞつて参加し、「仮称・蒔田トンネル開削促進期成同盟会」が設立され、所期の目的達成のための運動を強力に展開していくこととなりました。

つきましては、「仮称・蒔田トンネル」の開削促進に特段のご理解を賜り、早期の事業実施を要請します。



3月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	自民ク	共産党	公明党	新社会	無党派
第1号	平成20年度秩父市一般会計補正予算(第4回) 定額給付金及び地域活性化・生活対策臨時交付金対象事業の補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第2号	市道の認定について 下吉田344号線、荒川上田野142号線、荒川費川38号線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第3号	市道の路線変更について 中央413号線、下吉田37号線の路線変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
第4号	市道の廃止について 荒川上田野100号線、102号線の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○
第5号	指定管理者の指定について(中町駐車場) 田川警備保障(株)を指定管理者に指定する	原案可決	○	○	○	○	○	○
第6号	一般旅券の申請受理及び交付等に関する事務の委託について 横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町との事務委託の協議	原案可決	○	○	○	○	○	○
第7号	秩父市広域市町村圏組合の共同処理事務の変更及び同組合の規約変更について ふるさと市町村計画の策定、地域振興事業等の共同事務処理の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○
第8号	秩父ふるさと市町村圏基金出資金に係る権利の放棄について 斎場建設等の財源に充てるため、基金の残余財産を放棄する	原案可決	○	○	○	○	○	○
第9号	秩父市都市公園条例の一部を改正する条例 森のキャンパスアドベンチャーコースの設置に伴う使用料の設定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第10号	秩父市認可地縁団体印鑑条例等の一部を改正する条例 地方自治法の改正に伴う関係条例の所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第11号	秩父市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく勤務時間の改正等	原案可決	○	○	○	○	○	○
第12号	秩父市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく勤務時間の改正等	原案可決	○	○	○	○	○	○
第13号	秩父市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 看護師の2交代制勤務に対応可能な手当の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第14号	秩父市監査委員に関する条例の一部を改正する条例 財政健全化法の制定に伴う改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第15号	秩父市武道場条例の一部を改正する条例 秩父市荒川武道修練センターの改築に伴う名称変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
第16号	秩父市体育施設条例の一部を改正する条例 影森グラウンド夜間照明施設の新設に伴う所要の改定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第17号	秩父市夜間照明施設条例の一部を改正する条例 影森グラウンド夜間照明施設の新設に伴う所要の改定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第18号	秩父市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 子ども医療費の支給年齢を拡大する措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第19号	秩父市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例 市町村合併に伴う経過期間が終了することによる所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第20号	秩父市介護保険条例の一部を改正する条例 介護保険法の改正に伴う保険料の改定	原案可決	○	○	×	○	○	○
第21号	秩父市営住宅条例の一部を改正する条例 市営夏梅住宅駐車場整備に伴う使用料設定等の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第22号	秩父市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例 暴力団団員の不正入居・不正使用等を排除するための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第23号	秩父市子ども遊園地条例 子ども遊園地を開園するための条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第24号	秩父市長政治倫理条例 市長の責務を明確にし、公正な市政を実現するための倫理条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第25号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例 定住自立圏形成協定の締結・変更を議決事件とする条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第26号	ちちぶ定住自立圏振興基金条例 定住自立圏構想推進のための基金の設置条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第27号	秩父市重度心身障害者通所施設条例 重度心身障害者通所施設の設置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第28号	秩父市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例 国から交付される特例交付金を管理する基金の設置条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第29号	平成20年度秩父市一般会計補正予算(第5回) 歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第30号	平成20年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回) 保険給付費の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第31号	平成20年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第2回) 一般会計繰入金金の調整措置のための補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第32号	平成20年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第3回) 介護従事者処遇改善臨時特例基金設置等の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第33号	平成20年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第3回) 歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第34号	平成20年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回) 事業費確定等による歳入歳出の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第35号	平成20年度秩父市水道事業会計補正予算(第3回) 歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第36号	平成20年度秩父市立病院事業会計補正予算(第2回) 歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○

3月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	自民ク	共産党	公明党	新社会	無党派
第 37 号	平成21年度秩父市一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第 38 号	平成21年度秩父市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第 39 号	平成21年度秩父市老人保健特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 40 号	平成21年度秩父市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第 41 号	平成21年度秩父市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第 42 号	平成21年度秩父市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 43 号	平成21年度秩父市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 44 号	平成21年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 45 号	平成21年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 46 号	平成21年度秩父市駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 47 号	平成21年度秩父市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 48 号	平成21年度秩父市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 49 号	秩父市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
第 50 号	秩父市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
第 51 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○
議請第16号	保育所の最低基準の引き下げや市場原理に基づく直接契約制の導入等に反対を求める意見書に関する請願	採 択	○	○	○	○	○	○
議請第17号	肺炎ワクチン接種への助成に関する請願	採 択	○	○	○	○	○	○
議請第18号	仮称・蒔田トンネル開削促進に関する意見書の提出を求める請願	採 択	○	○	○	○	○	○
議員提出第52号	「緑の社会」への構造改革を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出第53号	障害者自立支援法の見直しを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出第54号	派遣労働法をはじめとした労働法制の抜本的改正を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出第55号	保育所の最低基準の引き下げや市場原理に基づく直接契約制の導入等に反対を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出第56号	仮称・蒔田トンネル開削促進に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○

市民ク (市民クラブ 14名)  
 自民ク (自由民政クラブ 5名)  
 共産党 (日本共産党秩父市議団 3名)  
 公明党 (公明党 2名)  
 新社会 (新社会党秩父市議団 2名)  
 無党派 (会派に属さない議員 1名) ※議長は会派人数に含まれていない。

○ 賛成  
 □ 賛否 ※賛成人数/会派人数  
 × 反対

請願の内容		
付託委員会	請願名	結果
文教福祉委員会	保育所の最低基準の引き下げや市場原理に基づく直接契約制の導入等に反対を求める意見書に関する請願	採 択
文教福祉委員会	肺炎ワクチン接種への助成に関する請願	採 択
建設委員会	仮称・蒔田トンネル開削促進に関する意見書の提出を求める請願	採 択

3月定例会に提出された請願は3件です。この請願は、建設委員会(1件)、文教福祉委員会(2件)に付託され、慎重審査の結果、次のとおり決定しました。

請願・陳情



# 各常任委員会の動き

## 総務委員会

- ◆一般旅券の申請受理及び交付等に関する事務の委託について
- ◆秩父広域市町村圏組合の共同処理事務の変更及び同組合の規約変更について
- ◆秩父ふるさと市町村圏基金出資金に係る権利の放棄について
- ◆秩父市都市公園条例の一部を改正する条例
- ◆秩父市認可地縁団体印鑑条例等の一部を改正する条例
- ◆秩父市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

**問** この条例策定の経過の中で、親族の範囲等、議論はどの程度したか。

**答** 自粛規定については、当初から厳しい規定をということで検討し、市長からも親族の範囲等を定めた意向もあったが、工事請負、委託、福祉関係の契約があり、例えば、そのような関係者が市長の職についた場合には、その親族等が関われない部分も生じ、市の施策に支障をきたすこともあるため、自粛規定については今後、

条例の範囲を特別職、議員等まで包括した検討をする中で協議していきたい。

- ◆地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例
- ◆定住自立圏構想にあたって、今後の予定、見通しはどうか。

**答** 今後の予定は、議会最終日に中心市宣言として宣言文を配付する。各町の町長、正副議長等に協力依頼をしてきたので、19日には予定通り中心市宣言を行いたい。

- ◆ちちぶ定住自立圏振興基金条例
- ◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第5回)所管費目
- ◆平成21年度秩父市一般会計予算所管費目

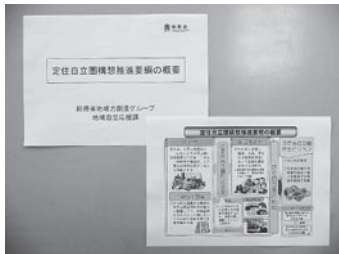
**問** 地デジ難視聴解消事業について、どの地域が解消するのか。

**答** 地域的には、美の山中継局からサテライトとしての定峰、栃谷、荒川地区、大滝地区、浦山等、受信できないところで、2009年度から事業費が計上されている。

○以上13件は、原案のとおり可決

## 建設委員会

- ◆市道の認定について
- ◆市道の路線変更について
- ◆市道の廃止について
- ◆指定管理者の指定について(中町駐車場)
- ◆中町駐車場の一部無料の理由
- ◆秩父市営住宅条例の一部を改正する条例
- ◆吉田夏梅住宅の駐車場利用は、1世帯に1台分ずつ・外来者用に2台、消防車用に1台。
- ◆秩父市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例
- ◆秩父市子ども遊園地条例
- ◆ちちぶキッズパークの管理人
- ◆2名、元保育士等経験者を配置。
- ◆トイレの設計は、乳児・子ども用・保護者用・オストメイト用等を考える。
- ◆年齢制限は、遊具が小学生低学年まで。
- ◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第5回)所管費目
- ◆平成20年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第3回)
- ◆平成20年度秩父市水道事業会計補正予算(第3回)



定住自立圏構想推進要綱の概要

◆平成21年度秩父市一般会計予算所管費目

**問** スポーツの森イベント収入とは。

**答** ハーレーダビッドソンの集まり「ドラゴンウェイブ」の収入、84万3千円である。

◆平成21年度秩父市下水道事業特別会計予算

◆平成21年度秩父市駐車場事業特別会計予算

◆平成21年度秩父市水道事業会計予算

**問** 水道料金のコンビニ経由での支払い額は。

**答** 下水道料金も含め毎月約60万円。

○以上14件は、原案のとおり可決。

### 〈請願〉

◆「仮称・蒔田トンネル開削促進に関する意見書の提出を求める請願」

○採択。



ちちぶキッズパーク現地視察

# 各常任委員会の動き

## 生活産業委員会

◆秩父市武道場条例の一部を改正する条例

◆秩父市体育施設条例の一部を改正する条例

◆秩父市夜間照明施設条例の一部を改正する条例

◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第5回) 所管費目

◆平成20年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

◆平成21年度秩父市一般会計予算所管費目

問 B M Xのコースは場所が遠いが、どのように対応するのか。

答 旧秩父市内に子ども達が利用できるようなコースを設置するといったことも含めて多くの方が利用できる方法を考えていく。

※また、B M Xについて、レンタル自転車を多く配置して一般の人が経験できる機会を増やすようにしないと、人気がでないと思う。

例えば、学校教育の一環として子ども達を連れて行っても対応できるようにも考えていくほうがいいとの意見が出された。

問 市営第一弓道場については、どのような話し合いがあつて現状にいたっているのか。

答 今回の改築は、東側から西側に矢を放つようにし、安心安全な

施設になるため高さ約6m以上の防護網を設置する。滝の上町会長には、連絡を取りながら経過等説明し、手書きの図面案を渡した弓道連盟からは、図面で要望等が出ており、それを考慮した仮図面を基に協議を行つていく。

※また、市営第一弓道場について、町会も了解するような形で結論が出るように話し合いをしてもらいたい、との意見が出された。

※住基ネットについては安全性の確保の問題と費用対効果等により反対との意見が出された。

○挙手多数により可決。

◆平成21年度秩父市農業集落排水事業特別会計予算

◆平成21年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

◆平成21年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算

※ミニ感謝祭については市報の広告欄に掲載されているが、旧町村の人たちにはまだまだ知られていないので、より積極的なPRを行つてもらいたい、との意見が出された。

○以上9件は、原案のとおり可決。

○以上9件は、原案のとおり可決。



秩父市あらかわ武道場

## 文教福祉委員会

◆秩父市職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例

◆秩父市介護保険条例の一部を改正する条例

※保険料の値上げ等で反対意見が出された。

○挙手多数により可決。

◆秩父市重度心身障害者通所施設条例

◆秩父市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例

基金の運用計画と効果は。

問 平成21年度から3年間均等に介護保険特別会計に繰り入れて使用する。介護従事者の生活が向上できるように事業所において使用する。

◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第5回) 所管費目

◆平成20年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成20年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第2回)

◆平成20年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成20年度秩父市立病院事業会計補正予算(第2回)

◆平成21年度秩父市一般会計予算所管費目

※福祉について安心できる予算で無いからの反対意見が出された。

○挙手多数により可決。

◆平成21年度秩父市国民健康保険特別会計予算

◆平成21年度秩父市老人保健特別会計予算

◆平成21年度秩父市後期高齢者医療特別会計予算

※制度に反対との意見が出された。

○挙手多数により可決。

◆平成21年度秩父市介護保険特別会計予算

○以上17件は、原案のとおり可決。

### 〈請願〉

◆保育所の最低基準の引き下げや市場原理に基づく直接契約制の導入等に反対を求める意見書に関する請願

◆肺炎ワクチン接種への助成に関する請願

○以上2件は、採択。



重度心身障害者通所施設ふあいん・ユ-ー現地視察



いっぱんしつもん

現経済状況下の秩父の企業、商店の現状について  
救済策について

市民クラブ 井上 十三男

問 秩父の実情について。

答 85%の企業が不況、60%が在庫をかかえている。不況でない業種もある。市としては間断なき経済雇用対策を速やかに実施すべく準備を全庁的に進めている。

問 法人市民税等の減納の影響について。

答 5月以降16・5%の減納、金額は1億2千万円、実質公債費比率は変わらないが、将来負担比率は変わってくる。交付税も減額が予想される。

●各事業について

問 自転車競技BMXコースの設計について日本を代表する選手のアドバイスを受けたらどうか。

答 会って話を聞きたい。

問 羊山公園芝桜の隣接農地の現状について。

答 地主の協力をいただき今年から使用出来るようになり、芝桜の移植を始めた。

問 見晴しの丘北西斜面に花木の植栽を。

答 計画を立てていきたい。「癒しの森・花の回廊」について。



今年増園された芝桜800ha

答 2万8千㎡の面積に春は7種の花、秋は8種の花の回廊で散策道にも両脇に花を植えていく。将来的には残されたハーフ(ゴルフ場跡地)にも植栽をしていきたい。

問 介護ボランティアについて。

答 東京都稲城市で行われている介護ボランティアについて研究をしたい。秩父市にも還元をするボランティアがある。

栗原市長の政治姿勢について

市民クラブ 笠原 重男

問 2期目に向けて決意させたものは。

答 地域医療対策、少子高齢化の対応、働く場所の創出、行政改革の一層の推進など多くの課題を解決していくためには、周辺自治体と連携しながら、「定住自立圏構想」を推進し50年先、100年先にも秩父市が輝きを放し続けられる「礎」となるものを築き上げたいと思っている。

●地球温暖化対策

問 家庭用ソーラーシステムの市の対応は。

答 現在、住宅リフォーム資金助成金を活用できるが、新年度からは、新築住宅への設置も対象とする。

問 水車発電について。

答 今、地域新エネルギービジョンの策定を進めていて、先月答申を受けたところである。答申では、既設の水車小屋や旧東高等学校前の堀などにマイクロ水力発電機の機器の設置等が答申された。マイクロ水力発電は、新エネルギーの普及啓発を図ると共に、水という貴重な地域資源の役割や活用方法

を学ぶ環境学習での活用にも大きな効果が考えられる事から、実施について、今後、詳細な検討をしていく。

●市営住宅の入居契約について

問 最後に貸し出しを行わず用途廃止とする予定の住宅についての修繕区分が条例に無いが、どう処理しているのか。

答 入居のルールを定めた「住まいのしおり」に記載されている、住宅の状況を確認し、入居者は修繕を行わず、本人が構造した物や持ち込んだ物等の撤去のみ行ってもらっている。



久長の市営住宅



いっぱんしゅもん

地元企業育成策について

市民クラブ 逸見英昭

問 地元企業育成のための具体策は。

答 地元企業で施行できる工事、取扱っている物品については地元企業に発注している。今後地元企業への発注機会の確保のため、地元企業の指名を最優先とした指名競争入札の実施を予定している。また、新たに市内に立地する企業や既存企業に対する工場誘致奨励金制度、水道料助成金制度、国際規格認証取得支援補助制度などの支援制度を設けている。

問 地元企業の要件は。

答 入札参加資格を有し、本社又は営業所等が市内に設置され、社員が常駐し、市税の未納がない事を主な条件としている。

● 少子化と学校教育について

問 小規模校での部活動等の課題・問題点は。

答 小規模校では部活動数が制限されるため、生徒の選択肢も制限される。方策の1つとして合同チームによる大会参加規程なども制定されているが、練習等に伴う課題もあり、今後も充実に向けて検討していきたい。



大田中学校

● 水道行政について

問 本管接続時の受益者負担の軽減策は。

答 現在負担軽減措置は設けていないが、今後の検討課題として調査していきたい。

問 県道に布設されている老朽管の早期布設替についての具体策は。

答 老朽管の入替については、県道の改修計画と水道管の埋設位置や深さなどが大きく関係してくるので改修と同時に布設替を行う必要がある。早期の実施に向けて改良工事の促進を県に要望する。

「行政サービス調査」について

市民クラブ 落合芳樹

問 日本経済新聞社の行政サービス調査の結果はどうだったか。

答 「高齢者福祉」は、埼玉県内で3位、全国で64位という高評価だった。特別養護老人ホームの整備率が高いことや国民健康保険料の均等割・平等割が安いことが要因と考えられる。

「子育て環境」も県内8位、全国69位という高評価。保育所の待機児童がいないことや乳幼児医療費の助成等が要因と考えられる。

「公共料金」は県内5位、全国18位という好成绩だった。上・下水道料金や住民票の交付手数料が安く、市役所窓口の夜間・休日サービスが評価されたと考えられる。

「教育」と「住宅・インフラ」は、調査項目や地域性の関係で芳しい評価は得られなかったが、充実発展に努めてまいりたい。

● 「定住自立圏」構想について

問 市町村合併や広域市町村圏との関係は。

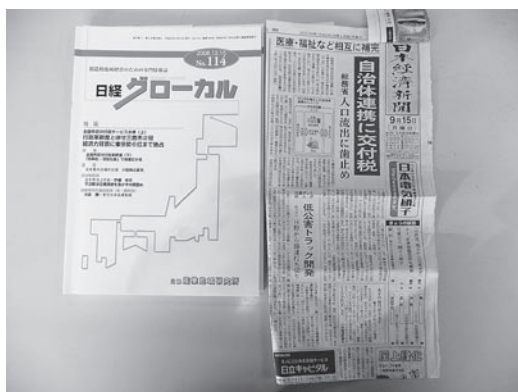
答 合併を促進するための手段ではないが、広域市町村圏にかわって、広域行政を振興していく新し

い国の施策で交付税措置等がある。

● 秩父市の「基金」について

問 残高や運用は。

答 80億を超え、1人当たりでは県内40市中トップ。安全性の確保を最重要視し、定期性預金や国債・地方債の債券で運用している。



日経の「行政サービス調査」の情報誌と「定住自立圏」構想の記事

いっぱんしつもん

市営馬場移転について

市民クラブ 笠原宏平

問 火葬場改築が市営馬場地に建設された場合、移転先・規模等はどのように考えているか。

答 市営馬場の移転に対しては乗馬連盟やスポーツ少年団の方々の競技力向上の為、練習の場として、又、馬を身近で見たり触れたりする事ができ、観光面等も考慮した施設とし、移転先は、関係団体と協議していきたい。

問 火葬場改築の現状と今後の予定は。

答 昨年12月15日に第2回の下宮地町会への住民説明会を開催し事業計画及び現在の進捗状況、並びに基本計画案を説明。環境並び交通量調査説明。今年2月10日に対策協議会の3役による会議を開催。3月中に建設対策協議会を開催する予定。その後、住民の同意が得られれば平成24年度中に供用開始できる様、検討したい。

●散骨問題の今後

問 荒川地区において散骨の問題に対し昨年12月議会において条例が策定されたが、その後の状況は。

答 「秩父市環境保全条例の一部改定」し散骨の制限を図ったが、

今後関係部署と連携し、監視・指導を行い、また、規制内容の充実を図り、独立した条例制定等も視野に入れ対策を検討する。



秩父市営馬場

◎空き家・危険家屋について  
◎ソーラー発電の補助金制度について

保育制度改革について

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

問 厚生労働省は社会保障審議会少子化対策部会に新たな保育の仕組み案を示した。市町村が保育を住民に保障する仕組み(現物支給)から、保育サービスを市場で買うための補助金を利用者に配る仕組み(現金支給)に転換しようとしている。親は自分で保育園を探し、直接契約を結ばなければならない。都道府県の認可が無くても、一定の基準を満たす事業者は参入を認められるというもの。この案に対して、地方議会などから「保育に格差が持ち込まれないか」など多くの懸念が示されている。10年度か、11年度の通常国会に児童福祉法改悪案を提出、13年度から実施のねらいで、児童福祉法第24条を削ろうとしている。この24条はいかなる場合でも、保育に欠ける状態にある子どもは、市町村が保障しなければならぬという、幼い子どもにとつてきわめて大切な条項である。

この保育制度改革による影響と今後の運営についての考えは。

答 メリットは、希望する保育所(園)に入所できる可能性が高くなる、保護者にとっては積極的な

参画意識が醸成されやすい、母子家庭、虐待等の優先受入義務が課される等。デメリットは、入所決定に関する自治体の関与が希薄になるため統一的な入所決定が図れない可能性もある。事業者側からの慎重な意見もあり、国、県等から情報を収集する等して、今後の動向に注目していきたい。



お散歩中のくわの実保育園児

◎市立病院改革プランについて



いっぱんしつもん

旧大滝村学生寮跡地について

自由民政クラブ 高野 安之

問 ①道生男子寮跡地について

②近戸女子寮跡地について

「道生町の市有地については、水資源宿舍の解体後、返還を受け、財源確保のため、入札による売却を予定している。」との答弁を聞き、この道生町の市有地のいわれを知る者として、聞き流してしまつては、大滝村民に申し訳なく、元住人として、思いのたけを申し上げておきたい。道生町市有地は元は男子寮用地で約5千5百万円位で売却とのこと。今議会に条例制定で提案されている近戸町は女子寮で重度身障者通所施設用地双方とも旧大滝村で自宅から通学出来ない子弟のための学生寮があつた土地だつた。道生町の方は、更地になつたので、市立病院の駐車場などの関連施設に使われるのかな、と思つていた。

この学生寮を建築するにあたり、当時の村民、行政関係者が満足な予算も無いのに土地の確保、建築など大変な苦勞をした。

①、②について、双方一体として一緒に尋ねる。

道生町の方は売却し、また、近戸町には女子寮があり水資源開発



重度身障者通所施設に改造された近戸町元女子寮

機構からそのまま返還され重度身障者通所施設に改造され利用される元大滝高校寮であつた。当時の大滝が教育熱心に取り組んで居た心が、後世に伝えるために経過を書いたプレート等据え付け、旧大滝村の功績を顕彰する経歴文等を未永く掲示してもらえないか。

答 今後、プレート等については検討。

旧秩父東高等学校を利用した常設「秩父科学実験室」設立について

無党派 新井 重一郎

問 ①右記「実験室」を国の推進

する定住自立圏の中心市街地（秩父市）に置き、秩父郡市全体の理科教育充実、発展のために活用する。②この事業は産官学の連携で取り組む。③この「実験室」を取りあえず大学研究室の分室として管理する。④「理科教育モデル市」として全国への発信拠点を目指す。⑤以上を実現するために設備、スタッフ（ボランティア、アルバイト）が必要になる。以上を問う。

答 以上に対する市長の一括答弁埼玉県との協議により、建物は無償譲渡、土地は無償貸借となつた。これを利用して①④⑤の構想を進める。本市の理科教育の推進にまたとないチャンスであり、秩父地域からノーベル賞受賞者を輩出するための言わば「ノーベルプロジェクト」と位置付けて未来創造に向けての学舎を作りたい。

●経済不況の当市の現状と対策

問 1月までの当市の失職者数は把握できない。但し、雇用保険

険上での退職者の内、退職理由が事業主の都合が約300人（リストラによる失職と思われる）。

問 失職者に対する市の救済処置は。

答 給付事務処理等と更に市の通常業務に対する臨時職員に各13人、20人の求人募集中。

問 市としての公共事業前倒しは。答 臨時交付金に基づく公共事業の発注を一般競争入札ではなく地元企業優先の指名競争入札で実施。



理科おもしろ実験教室

◎当市の予想される税収の減少は◎携帯電話校内持ち込みについて

いっぱんしつもん

失業者及び中小企業の支援と

市の緊急事業の前倒しの取組は

自由民政クラブ 今井武藏

問 自由民政クラブは12月に、急激な景気後退による諸対策・失業者の緊急相談窓口・緊急支援策・金融支援・市業務の雇用確保等に項目を提言。これらの取組状況は。

答 緊急雇用労働相談は、県、職安、市で1月以降実施し成果あり。また、3月2日議会初日に緊急56事業を即決。4月から各施策を実施。

助け合いぬくもりのまちづくり  
マニフェストの成果

問 財政の健全化、行財政改革、経済危機に俊敏な対応。旧秩父セメント第1工場跡地の活用。旧秩父東高校の福祉、学習の活用。地域医療体制の再編による医療改善の取組は。

答 財政健全化80プランによる人件費の削減並びに行革着々と進行中。経済危機市民支援策は3月議会でも可決。旧セメント跡地は5月頃に整地し、10月目途に構想検討。旧秩父東高校跡地は、県から無償借用。総合施設、活動支援センター等検討。

秩父市有林緑の投資で森林事業針・広葉樹混合林の育成を

問 秩父、吉田、大滝、荒川地域の現状と問題点。県の緑策と併せ混合林の育林業の計画的森林対策。私有林は3291haで、各地域毎に枝打ち、間伐等育林実施中。



学童の交通事故防止教室 大型車による体験学習

- ◎ちちぶ定住自立圏構想の諸策
- ◎大血川市有林の現状
- ◎市民の声、市民諸活動の拠点の部屋と支援センター設置方
- ◎交通事故防止安全教室の実施

赤ちゃんの駅設置について

公明党 福井貴代

問 公共施設等に、乳幼児を連れてママたちが、気軽に立ち寄っておむつ替えや授乳ができるスペースを確保し、まちぐるみで子育てを応援する赤ちゃんの駅を設置してはどうか。

答 「子育て支援、元氣長寿のまち」宣言した本市としても、重要な施策である。今後は、公共施設の他、民間の保育園や民間商業施設にも、協力をお願いする。

2010年、国民読書年に向けた  
取り組みについて

問 国民読書年に向けて「ちちぶ必読書」等を作成し、読書活動の更なる充実を図ってはどうか。

答 多くの効果が期待でき、前向きに検討していく。2010年の国民読書年に向けて、学校図書館や市立図書館の充実を図るため、今後も市民のニーズ把握に努め、研究を進める。

地球温暖化対策

問 公共施設に太陽光発電導入は。子どもたちへの環境教育や市民への普及啓発の面からも大変重要。緊急時の非常用電源にも活用



ミュージックパークのイルミネーション

問 今後実施計画で検討することができる。今後実施計画で検討する。ミュージックパークのイルミネーションに太陽光発電導入は可能か。

答 現段階では難しい。消費電力の少ないLEDを使用している。点灯期間中の来場者は3万2千人を超えた。今後はテーマを決め、統一感、充実感を出せるよう検討。

問 公用車の次世代自動車導入は。

答 ハイブリッドカーはリースを含め4台導入。来年度もリースで1台導入予定。電気自動車や燃料電池自動車等の導入は高額で困難。



いっぱんしつもん

国の追加経済対策への対応

日本共産党秩父市議団 新井康一

問 国の第2次補正予算の経済対策の特徴的なものは、定額給付金、地域活性化・生活対策交付金、ふるさと雇用再生特別交付金と緊急雇用創出事業交付金である。

答 市民の生活向上につながる公共事業を選定し、6月議会に補正予算として提案したい。

問 ふるさと雇用再生特別交付金と緊急雇用創出事業交付金での各事業と雇用の内容は。

答 ふるさと雇用再生特別交付金は森林バイオマスで8人。民間委託で実施。緊急雇用創出事業交付金ではスポーツの森整備に11人をシルバーで。芝桜対策に8人。学校教育支援に3人を3校へ。各事業の合計は30人である。

肺炎球菌の予防接種に補助を

問 日本人の死因で4番目に多いのが肺炎で、その内約95%が65歳以上の高齢者である。そしてその

約半数が肺炎球菌によるものという研究結果もあり、悪化が早い場合は治療の効果が出る前に死亡することが少なくないということ。大滝地域ではこの予防接種に65歳以上を対象に3千5百円の補助がある。これを全市に広げて補助をすることはできないか。

答 日本では効果について十分な検証がされていないが、総合的に検討していきたい。



肺炎球菌の予防接種

◎介護保険の見直しと影響

バイオマス発電にチップ製造機の設置を

新社会党秩父市議団 坂本文雄

問 環境保全を目指して取り組まれている木質系バイオマス発電は木のチップを購入している。市民生活と密接した取り組みとなるよう、古材を含めたチップが作れる大型のチップ製造機を導入すべき。

散骨条例設定後の進展は

問 現在の焼骨は高温で焼かれるので、骨がセラミック化されて土になりにくいしパウダー化する事によって風で飛んで行く事が考えられる。荒川地区は住民の反対で散骨はしない事になったが、定峰地区はどのような事になったか。

答 現在、特定非営利活動法人からアプローチがあり、その団体と協議中である。

産廃処分場埋め立て後の管理を

問 旧埼玉三興の処分場は平成18年11月以降処分場の汚水処理場も不等に埋め立てた部分はそのままで、産廃処分場の問題点が浮き彫りとなっている。今回旧埼玉三興処分場の汚水処理を埼玉県で

1年間行うとの話があるが、廃水検査や水路の確認・1年後の水処理の要請はどのようにするのか。旧武蔵開発協会の湧水の汚染についての秩父市の考えは。

答 旧埼玉三興の汚水処理については、市も排水の検査を行うと共に排水も万全をきす。1年後の水処理も業者・埼玉県に要請。旧武蔵開発協会の汚水は県と協議する。



バイオマス発電所

いっぱんしつもん

緊急雇用対策について

新社会党秩父市議団 金崎昌之

問 再就職のため、介護ヘルパーの資格取得をめざす人たちが増えている。自治体として講座を開催し、これを助成すべき。

答 秩父市社会福祉協議会で講座の再開を検討しているのですが、市としても再開を強く要望する。

問 失業等のストレスで一時的に落ち込む心のケアに、専門家による相談窓口の設置が求められる。

答 窓口の開設は予定していないが、県等で行っている相談先の案内を市報等に掲載し、周知を図る。

●DV被害者支援について

問 DV被害者が増えており、市町村にも被害者支援のための「基本計画」の策定や「支援センター」を設けることが努力義務となった。市としての対応は。

答 他市の状況を見て検討したい。

●秩父のみどり清流を守る施策

問 吉田元気村で行われている廃食油からディーゼル燃料を再生する事業のこれまでの成果と課題は。また、この事業を障がい者の雇用へと結びつけていく考えは。

答 20年度は5台の公用車が廃食



てんぶら油リサイクル工場

油燃料で動いている。21年度はこれを10台に増やす予定。課題は、廃食油の回収量を増やすこと。

また、障がいのある人の雇用については、社会福祉協議会との連携を深めながら検討していく。

問 秩父市で先進的に取り組む環境保全事業の一層の発展には、自動車税の一部を充てた県の「みどりの基金」との連携が重要。

答 基金のさらなる制度充実を県に働きかけていきたい。

緊急対策事業

公明党 富田恵子

問 「仕事がほしい」との現場の声もあり、不況から小規模事業者を守るために、住宅リフォーム資金助成事業の拡大、店舗等へ活用。また、耐震工事への助成の考えは。

答 21年度から耐震工事と太陽光発電設備工事に限り、2回目の助成金交付を行う。

問 公共施設整備の際は色を有効に活用し安心安全なまちづくりを。

答 ユニバーサルデザインによる施設整備に努める。

問 障がい者雇用の現状は。緊急雇用にあたり配慮されたか。

答 不況の中で大変厳しい状況。

●子育て支援

問 保育所の待機児童は。

答 待機児童はゼロ。障がいのある児童で医療行為が必要なため、看護師等を配置しなければならぬ場合には、お預かりしていない。

問 学童保育室、ふれあい教室の待機児童の現況は。

答 2学童で19名、9ふれあい学校で141名が待機見込み。

問 地域子育て支援センターの22年度からの計画の考え方は。

答 地域子育て支援センターの維持



旧秩父東高等学校

持、更なる事業の拡充を図る。

問 旧秩父東高校を活用し、親子が共に育つ環境づくりのために子育て支援、女性の再チャレンジ支援、保育付き事業、父親支援プログラム等の実施の考えは。

答 開設準備室を設置し検討。

●室内アイススケートリンク開設

問 みちのく八戸国体で本県スケート競技は8位入賞。本市関係者が活躍。スケートで観光振興を。

答 調査・検討し慎重に進める。



# 教育と保育施設の課題について

自由民政クラブ 金田 安生

**問** なぜ鉄筋コンクリート製の建物にこだわるのか。地元産の木材を使って作れない理由は。

**答** 木材建築は耐用年数が短く割高になってしまふ。内装等には積極的に地元産木材の使用を考えて行きたい。

**問** 国は太陽光発電の普及に力を入れていて。率先して教育施設等への導入を進めるべきと思うが。

**答** 教育等に係る基本設備の整備を優先に費用配分している。限られた予算の中での設備導入であり今後の課題と思っている。

**問** 保育所の耐震を含む実情は。

**答** 市内6ヶ所が老朽化。高篠は雨漏り等の修理を実施中。来年度以降それぞれの施設の耐震診断を行い、改修を検討したい。

## ●観光事業について

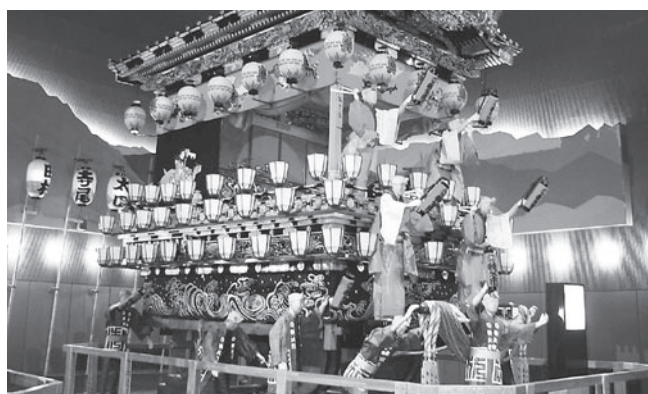
**問** 市の観光行政はメリハリがない。基本的な考えは。

**答** 市の重要産業の一つと考えている。秩父郡市内の4つの観光協会と連携を図り、力を入れる。

**問** 観光客から「まつり会館のディスプレイがホコリだらけ。夏はトイレの臭気が気になる」「道の駅

ちちぶの案内スペースや県外野菜の販売は「ただけでない」の声が聞こえるが。

**答** まつり会館の掃除は2ヶ月に一度行っている。人形が和紙で出来ており古さを演出しているつもりが汚れているように見えるのかもしれない。全体の見直しを考える。道の駅についても担当窓口と相談して観光客に秩父の農産物等を販売するよう対策を考えたい。



秩父まつり会館内に常設展示されている屋台

# 市長政治倫理条例

自由民政クラブ 中村 義一

**問** 昨年4月の市長関連企業の問題に鑑み、市長政治倫理条例が提案されたが「市と契約の自粛」についての明確な条項がないので、他の自治体の市長政治倫理条例と比べ規制が弱く、物足りない。

**答** そこで、「市長、配偶者および市長の2親等以内の親族の経営する企業、市長が実質的に関与する企業は、市との売買契約、請負契約その他の契約については契約を締結しないよう努めなければならぬ」と規定し、市長が関与する企業とは、市長が資本金その他これらに準ずるものの5分の1以上を出資している企業、市長が関与していると認められる企業と明確にし、条例を強くし修正すべきと思うが市長の考えを問う。

**問** 秩父神社例大祭当日、観光客警備のため地場産センターから神社門前を経て番場町に抜ける道路が、午後5時半ごろより8時位まで通行止となる為、商店街への観

**答** それらの規定が法律に抵触する恐れもあり、厳しく身を律して行くので必要無いと考えている。

## ●秩父夜祭の観光客と警備



番場通りの風景

光客の流れが止まり、商店では売上減少等大きな影響があり困っている。

**答** 良い解決策はあるのか、まつり対策協議会等での対応協議等について聞きたい。

**答** まつり対策協議会等で、問題提起をし、観光客の安全と警備上の問題点を今後、まつり対策協議会等で、解決に向け協議して行きたい。

# 特別委員会報告

## 危機管理・ダム対策特別委員会

平成20年12月定例会後から平成21年3月定例会までの2回開催の委員会報告をする。  
**第25回委員会 (1月19日)**

この委員会では、前回からの協議事項から、二瀬ダム砂利すくい出し及び二瀬ダム道路拡幅工事の状況と秩父市の活断層の3議題について審議した。

**問** 砂礫(されき)搬出について9千万円の経費が必要とのこと、地域の活性化の観点から、三峰側の地山を開削して道路を下ろすことは考えないのか。

**答** 砂礫の搬出を船で運ぶことは初めてであり、市の考え方として検討いただくことが可能か話してみたい。

**問** 浦山口断層は浦山ダムにもかかっていると聞くが、確実度が変わっていると聞かされたらどうなのか。  
**答** 非常に説明しにくいところである。深谷断層から秩父市への影響について、A4判20ページのものを2月の市報と一緒に配付する予定である。

### 第26回委員会 (2月16日)

この委員会では、前回の確認事項である「協議会等」設置の報告と水資源からの要望書提出

後の状況報告がなされ、当局には協議会等早期に立ち上げ、構成委員は水資源、県、市議会、地元関係者等入れるよう要望するとの意見で一致した。

なお、本委員会は、平成18年5月17日に12人の委員をもって地域の安全安心の観点に立ち今日まで慎重審査を重ねたが、平成21年3月定例会で審議終了した。



浦山ダム

## ● 人事案件 ●

任期満了に伴う、秩父市監査委員、秩父市公平委員会委員の選任および人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会では次の方を適任と認め同意することに決定しました。

また、任期満了に伴う秩父市選挙管理委員会委員および補充員の選挙が行われ、次の方が当選されました。

### 秩父市監査委員

木村 健一 (中村町)

### 秩父市公平委員会委員

原嶋 岸 男 (荒川上田野)

### 人権擁護委員候補者

今村 恵美子 (道生町)

### 秩父市選挙管理委員会委員

山口 泰 廣 (大 滝)

石川 光 子 (上宮地町)

中井 隆 吾 (山 田)

松本 隆太郎 (上 町)

### 同補充員

#### 順序

1 風 間 保 男(上吉田)

2 加茂下 啓 子(荒川贄川)

3 笠 原 三枝子(寺 尾)

4 黒 澤 保 夫(大 滝)

## 編集後記

暖かきから暑さを感じられる季節になってまいりました。

先月の市長選挙と同時に行われた市議会議員の補欠選挙によって議員数も30人に戻りましたが、来年の選挙からは26人となります。定数に関しては「人口比で言えば24人」、「市の広さで言えば30人」と議員定数について議論がありますが、定数が変わっても、議員一人ひとりの責任の重さが変わる事はありません。その責任を持った議員の議会での行動や発言を簡潔にわかりやすく伝えるのがこの「議会だより」ですが、誌面も限られており、その内容を十分に伝える事ができない現状です。

この議会だよりだけでなく、是非一度、傍聴やホームページの議事録で我々の活動を市民皆様にご覧になって、市政に関心を寄せて頂ければと思います。

新井 豪 記

## 編集委員

委員長 斎藤 捷 栄  
副委員長 坂本 文 雄  
委員 新井 重 一郎  
" " " 新井 重 一郎  
" " " 富田 惠 子  
" " " 荒船 功 子